

□議員名：伊場勇

1 愛国心を育む教育について

論点	日本神話は日本人として生きる根本であると考えているが、神話について古事記、また日本書紀に由来する教育が、現在はどのような形でされているのか。
回答	神話に書かれた日本の成り立ちに関する学習については、小中学校の歴史の学習において、大和政権について、後の天皇である大君についても学んでおり、小学２年生の国語科においても、聞いて楽しむ教材として、古事記にある「いなばの白うさぎ」を取り上げている。

論点	大和言葉は、一音一音が明瞭で四十八音の一音一音に意味がある世界でも珍しく、大陸から文化や漢字が伝わる前から日本で使われていた極めて古い言語であるが、その大和言葉についてどのような教育がされているのか。
回答	和語として、古典文学の一つである百人一首を聞いたり読んだりすることで、心に響く美しい音の響きを感じるとともに、繊細で綿密な言葉選びや表現力、そして日本の風土や文化を感じ取ることを通して、我が国の言語文化について学びを深めている。

論点	郷土愛は、地域社会の結束を深め、地元の誇りと地域の一員としての責任感を醸成するのに役立ち、若者の県外へ流出を防ぐことやＵターン施策においても大変有効であるが、本市の小中学校において、郷土愛を育む教育にどのように取り組まれているのか。
回答	コミュニティ・スクールに指定し、「地域とともにある学校」のキャッチフレーズの下、社会総がかりで取り組む地域連携教育を推進している。地域住民との触れ合いや交流を図ることや、子供たちが地域のお祭りや文化祭などの催しに、運営側の一員として参加したり、社会科の副読本「発見山陽小野田」をデジタル化し、１人１台のタブレットを端末で見られるように整備するなどして、学校と地域と一体となった学習を推進し、地域愛を愛する気持ちを育んでいる。

論点	これからの本市や国を支える人間を育てるために、自己肯定感を得るためどのような教育が必要と考えているか。
回答	子供たち自身が興味あることや得意な分野で自己表現できる場を提供することで、自らの可能性や強み、存在価値を自覚し、自信を深められると考え、教育委員会としてポジティブな学習環境を整え、学校生活において、児童生徒の努力や成果を積極的に認め、肯定的なフィードバックを提供することで自己肯定感を高めていく。

論点	本市で生まれ育っている子供たちに何を教えていく必要があるのか、市長の考えを聞く。
回答	山陽小野田市教育大綱には、将来を担う子供の資質や能力の育成等を図り、学校・家庭・地域が連携・協働して子供の健やかな成長を支援していくことを柱に掲げており、基本目標３において、「先人の意志を受け継ぎ、まちの未来のために汗する人を育てる」の中で、郷土を愛し、自らの意志に基づき、自らの力で、また他と力を合わせて主体的に社会と関わり行動することを、あらゆる世代、子供たちの世代にも求めている。子供たちの郷土愛の醸成は、学校のみでなし得るものではなく、引き続き地域の皆様方の御支援、御協力をお願いしたい。

2 消防団の適正な活動環境について

論点	令和３年４月に消防庁より、消防団員の報酬等の基準の策定等についての通知が出された理由をどのように捉えているか。
回答	団員のなり手不足は全国的に深刻であり、まず消防団員の適切な処遇の在り方について通知されたものと理解している。この通知により新聞報道等もされた報酬等の支給方法についても改善されているものと考えている。

論点	消防団活動をする上で、公費で賄うべき経費の基準は本市にあるのか。
----	----------------------------------

回答	詳細については、定めた基準はないが、消防庁からの通知に基づいて支出している。
----	--

論点	市が消防団を設置する責任の下、市が消防団運営の方針や公費で賄える経費の基準を定めることが必要ではないか。
回答	団員から広く意見を聴取するなどして、活動環境を整え、適切な消防団の運営を行うことで消防団員確保につなげていきたい。